

ほくとライブラリー



新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 226

R2. 秋の特別号

第4回夜の図書館

「フクフク交換 in あらや」

閉館後の夜の図書館で、

テーマに合った本を持ち寄って紹介しあいます。

その後、参加者同士で本を交換して、
本を話題におしゃべりを楽しみましょう！

日時：10月23日(金)

午後7時30分から8時30分まで

会場：新屋図書館 本館

定員：先着10名

持ち物：交換(プレゼント)する本

「大人も楽しめる絵本」「カフェ・喫茶店で読みたい本」「(夫婦・恋人・友人・きょうだい・同僚などの)異性にあげたい本」いずれかに当てはまる本をお持ちください。(自分で読んで面白かったお気に入りの本であり、誰かにあげたい本であることが前提です)

申込み：10月18日(日) 午前10時から

電話(828-4215)

または開館時にカウンターで受付

図書館で WA ROCK !

西オーストラリアで生まれ、北秋田市阿仁地域で
広まった自然遊び「WA ROCK」。

その遊び方を楽しく学びながら、
実際に石に絵を描くワークショップです。

日時：11月3日(火・祝)

午後1時から3時30分まで

講師：長谷川 拓郎氏

(阿仁合コミュニティ代表)

会場：新屋図書館 研修室

定員：先着15名

※当日は汚れてもよい服装でお越しください

申込み：10月20日(火) 午前10時から

電話(828-4215)

または開館時にカウンターで受付

10月のおはなし会

10月3日(土) 14:00~14:20

お月さま

~大型絵本・カタコト人形・
パネルシアター~

(研修室・幼児~小学生)

10月13日(火) 10:30~10:45

おつきさま こんぼんは

~絵本・ふれあい遊び・紙芝居~

(研修室・赤ちゃん~)

新刊案内

武器としての「資本論」

白井 聡／著

東洋経済新報社 請求記号 331.6 (経済学)

1867年にカール・マルクスによって刊行された『資本論』。150年以上前の経済学が現代に必要なのか？それは、働くことの「なぜ」を考え、生き延びる知恵を探ることができるからだと著者は考えます。マルクス入門は数多あります。新しい視点を与えるもの、納得できるもの、あなたに合う本と出会えますように。

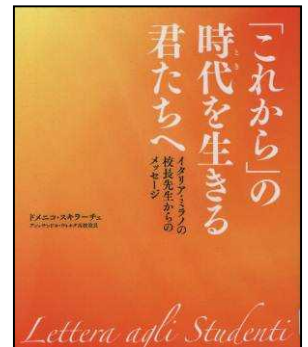


「これから」の時代（とき）を生きる君たちへ

ドメニコ・スキラーチェ／著

世界文化社 請求記号 370.4 (教育)

新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあった2月。イタリアのある高校の校長が、子どもたちにメッセージを送りました。その言葉は、子どもや、一つの国にとどまらず、多くの人々の心に響くものでした。この本は全文を日本語に訳したものです。



植物はおいしい 身近な植物の知られざる秘密

田中 修／著

筑摩書房 請求記号 611.4 (植物)

食卓を彩る植物たちの知っているようで知らない雑学を多数収録。石焼き芋が甘いのはなぜ？香りが持つ効能って？認知症を予防する植物はあるの？植物が持つ「おいしい魅力」について、あなたはどのくらい知っていますか？



パパのはなよめさん

麻生 かつこ／作 垂石 眞子／絵

ポプラ社 請求記号 91 ア (読み物) ※1年生から

りみちゃんはパパと2人家族です。ずっと2人のままでよかったのに、パパが結婚することになりました。やってきたのは、目の周りが緑でまっげバサバサの「みどりおばけ」。「きょうからりみちゃんのパパだよ。」って言われたけど、りみちゃんは面白なくて…。



インターンシップ実習生のおすすめ本

王子さまの耳はロバの耳

岡田 淳／文 はた こうしろう／絵
フェリシモ 請求記号 91 オ (読み物)

誰にでも周りと比べてみると、どこか違う特徴があるでしょう。鼻が高かったり、声が低かったり…。この物語に登場する王子さまは、耳だけがロバという特徴があります。他人と違うことは変なことでも悲しいことでもない、そういった優しい気持ちがあふれた一冊です。心をみる目を育てるきっかけに是非！



ハーバード式病気になるしない生活術

浦島 充佳／著
三笠書房 請求記号 498.3 (健康法)

体重を減らしたいと考えダイエットを実行し、思うように効果が上がらない人が多くいると思います。この本は、そういった健康に関する素朴な疑問について食事の習慣や摂取に注目し、問題を解決していく本となっています。健康的にダイエットしたい人にオススメです。



仮面病棟

知念 実希人／著
実業之日本社 請求記号 Fチ (日本の小説)

外科医・速水秀悟は、取調室で3日前の悪夢のような夜を思い出していました。ピエロのマスクを被った強盗犯によって、病院がジャックされたあの夜を…。読めば読むほど続きが気になって、気がついたら全部読み終わっている。そんな一冊です。息を呑むような緊迫した心理戦を、是非お楽しみください！



車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる

小林 照幸／著
毎日新聞出版 請求記号 645 (ペット)

ペットは家族に含まれると思いますか？この本は、事故により車いすを装着した犬とその家族との生活を書いたお話です。犬や猫は人間と比べて、はるかに寿命が短いとされています。様々な理由により介護が必要となってしまったペットに対して、家族の一員として支え合う、感動する一冊です。



記事になったお酒の話題あれこれ・・・岡住修平氏・・・

新屋図書館移転開館20年記念講演の講師をしてくださった若き蔵人、現在は東京浅草のどぶろく蔵「木花之（このはなの）醸造所」の初代醸造長を務める岡住修平さんが話題沸騰です！

酒税法の制約で新規参入がほぼ認められていないという難関な業種ながら、男鹿に酒蔵を開業し清酒製造免許の新規取得に挑む彼を、プロも愛読する日本酒情報サイト「SAKE Street」や毎日新聞が大きく取り上げました。彼のチャレンジは、持続性の高い農業と雇用、社会貢献など酒造りだけにとどまりません。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
毎日新聞9月10日
SAKE Street 7月27日
「稲とアガベ」公式サイト

今、あなたへ ～秋の楽しみは？～

秋の楽しみといえば、何と言っても「食」。こんな本はいかがでしょう？

『おいもで作るおやつBOOK』（大森いく子／著・PHP研究所）

スイートポテトなどの定番どころはもちろん、里いもや山いもを使ったレシピもあります。

『にっぽんのおにぎり』（白央篤司／著・理論社）

日本の米は世界一！47都道府県それぞれの地方で愛されているおにぎり、その地域の名物でアレンジしたおにぎりを写真で紹介。あなたの一押しをぜひ見つけてください。

その他、栗やさんま、きのこなどを使ったレシピが載っている『旬がおいしい和のごはん』（高橋良枝／著・成美堂出版）、児童書ですが大人にも作りやすい『30分でできる伝統おやつ 秋のおやつ』（伝統おやつ研究クラブ／編・偕成社）などもぜひ手に取ってみてください。（いずれも当館で所蔵しています）

おいしい秋の味覚を思いっきり楽しみたいですね！

図書館員のひとりごと

いつの間にかすっかり日が短くなりました。仕事が終わる頃には、辺りは薄暗く運転もやや緊張気味になります。

この間、いつも通る道を車で走っていると、道路脇の茂みから何かが「わらわらわらっ」と飛び出してきました。スピードを緩めてよく見ると、なんとキジの親子です。キジの親子は、突然現れた私の車に相当びっくりした様子で一目散に道路を渡っていきました。一匹出遅れたヒナがいましたが無事に合流。全員が揃うのを待つ親鳥の姿にほっこりしつつ、私もその場を後にしました。夜道の運転は、飛び出し注意、慎重に。
(近藤)

うちにはシニアの柴犬がいます。2匹の先住犬が生きていたときは元気に駆け回り遊びをしかけるほど活発でした。

しかし2匹が亡くなり年をとると、すっかりスローペースに。散歩に行くと家の前で立ち止まりぼーっとしています。長いときは30分ほど動きません。帰りたいのかと思い、時々リードを軽く引っ張ってみるのですが、踏ん張って帰ろうとしません。仕方がないので彼女の気が済むまで私もぼーっとして付き合います。

でもそれは成犬にはなかった可愛さ。シニア犬の魅力に気づかされる毎日です。

(長井)